

## 1. 概要

キルチネル大統領の実姉であるアリシア・キルチネル上院議員が再び社会開発相に就任した。また、大統領府前に位置する五月広場において、大規模な治安改善要求集会在開催され、市民の治安改善に対する関心の高さが示された他、議会において、首相に予算の歳出項目を変更する権限を付与する超権限法案が成立した。

外交面においては、タイアナ外相がオーストラリア及びニュージーランドを公式訪問した他、次期国連事務総長選挙への出馬を表明している韓国、タイ及びインドの候補が、国連安保理非常任理事国である亜を訪問した。また、シオリ上院議長による招待で、扇参議院議長が亜を公式訪問した。

## 2. 内政

### (1) 社会開発相の交代

(イ) 16日、キルチネル大統領の実姉であるアリシア・キルチネル上院議員（サンタクルス州選出）は、議会上院に対して、キルチネル大統領の要請により社会開発相に就任するため、17日以降議員職を休職する旨の申請を行い、同日、承認された。

(ロ) 17日、2003年5月から2005年11月まで社会開発相を務めた同議員は、大統領府において宣誓を行い、ナダリッチの後任として同相に再び就任した。

(ハ) キルチネル大統領は、昨年10月の議会選挙において、サンタクルス州選挙区の上院議員選挙で確実な勝利を収めるために、アリシア・キルチネル社会開発相（当時）を、上院議員候補として同選挙に擁立したが、数ヶ月間、上院議員を務めさせた後、アリシア・キルチネルを社会開発相に再任することを考えていた由。

(ニ) なお、2003年5月に発足したキルチネル政権で閣僚が交代したのは、今回で7人目となる。

### (2) 治安改善を求める大規模集会

(イ) 31日夜、2004年3月に息子を誘拐・殺害されて以降、治安改善運動を率いている民間人ブルンベルグは、大統領府前に位置する五月広場において、治安改善を要求する集会を呼びかけたところ、約10万人の市民が集まった（第三者機関の数字）。なお、同集会には、マクリ下院議員（変革党党首）やロペス・ムルフィー元経済相（国家再建党党首）等の野党の主要政治家、強硬派ピケテログループM I J D（反政府系）のカステルス代表等も参加した。

なお、ブルンベルグは、これまで3回（議会前広場2回、最高裁前広場1回）治安改善

を求める集会を呼びかけたが、政府に対する直接的な要求を意味する大統領府前の五月広場における集会は、今回が初めてである。

(ロ) ブルンベルグは、「ここまで来るのは容易ではなかった。我々は、侮辱され、脅かされたが、しかし、我々は今ここにいる」、「キルチネル大統領、貴方は、(首相に予算の歳出項目を変更する) 超権限や司法審議会改革を求めて、それを実現した。我々は、皆のために治安改善を求めている。キルチネル大統領は、多くのことができるはずである」、「政府は、経済に関して素晴らしい仕事をしてきたが、政府の予算は、スラム街を無くし、治安を改善するために利用しなければならない」と述べた。

(ハ) また、ブルンベルグは、「投票の力は、我々を救うことになるだろう」と述べたが、マクリ下院議員(変革党党首)と協力して、同人自身が2007年のブエノスアイレス州知事選挙に出馬するのではないかと憶測に関しては、「自分の唯一の目的は、(殺害された)息子の事件の裁判であり、(今は)自分の立候補のことについては考えていない」と述べた。

(ニ) ブルンベルグは、連邦捜査局の創設、刑罰対象年齢の引き下げ、仮釈放を受けた者の監視強化等を求めている。

(ホ) なお、同日、政府系ピケテログループFTVのデリア代表は、五月広場から約500メートル離れたオベリスコにおいて、ブルンベルグの集会に反対する集会を開催したが、集まったのはクンケル下院議員(与党ペロン党。前大統領府副長官)等約3,000人だけであり、懸念されていたブルンベルグの集会の参加者との衝突は起こらなかった。

(ヘ) ブルンベルグの集会時、キルチネル大統領は、大統領府において、テレビを通して同集会の様子を見ており、政府批判の声に対して怒った由。

### (3) 超権限法案

(イ) 3日、議会下院において、約12時間にも及ぶ審議の末、予算の歳出項目を変更する権限を首相に付与する法案(通称:「超権限法案(Superpoderes)」)が可決成立した。

(ロ) 野党は、同法案が、大統領の権限強化に繋がり、権力分立に反すると痛烈に批判している。

### (4) 軍政期の人権侵害

(イ) 2005年6月、最高裁は、軍政期の強制失踪に関与した疑いのある元警察高官に関する事件において、1976-1983年の軍政期における人権侵害を不問にする旨定める免責法である終結法及び服従法が違憲であるとの判断を下した。

(ロ) 2006年8月4日、連邦口頭裁判所(下級審)は、軍政期において、ホセ・ポブレッテ氏及びその家族(妻と娘)の誘拐及び拷問を行なった容疑で、元警察高官フリオ・シモン被告に対して、25年の禁固刑を下した。同判決は、前記最高裁判決以降、軍政期の人権侵害を行った容疑者に対する初めての有罪判決である。

(ハ) なお、他の容疑者に対する類似の事件に関する約960件の訴訟が係争中であり、

数千人の軍関係者（退役軍人を含む）に対する裁判が再開される可能性がある。

### 3. 外交

#### (1) オーストラリア及びニュージーランド

##### (イ) オーストラリア

(i) 9-12日、タイアナ外相は、オーストラリアを公式訪問した。

(ii) 滞在中、タイアナ外相は、マーク・ベイル副首相（兼貿易相）、ダウナー外相、ビショップ教育相等と会談した他、豪議会を訪問した。さらに、亜におけるビジネス・チャンスに関するセミナーの開会式出席、原子力開発等を行う亜公社 I N V A P がオーストラリアに売却した原子炉施設の視察等を行った。なお、同原子炉施設の正式なオープニングは、2007年上半期に予定されている。

(iii) タイアナ外相は、9月20-22日にオーストラリアにおいて開催されるケアンズ・グループ閣僚会合開催の重要性について、亜豪間で意見が一致した旨述べた。

(iv) その他、タイアナ外相は、「亜は、対外関係の多角化戦略を進めており、アジア太平洋における亜のプレゼンスを高めることを優先課題の一つとしており、右戦略の中で対豪関係は重要である」、「ベイル副首相及びダウナー外相との会談では、オーストラリアが、亜及びラ米、特に南米に非常に大きな関心を有していることが明らかに分かった」等と述べた。

##### (ロ) ニュージーランド

(i) 12-14日、タイアナ外相は、NZを公式訪問した。なお、亜の外相が、NZを訪問するのは、9年振りのことである。

(ii) 13日、タイアナ外相は、ピーターズNZ外相と会談し、二国間関係、二国間のワーキング・ホリデー・ビザ・プログラム、ブエノスアイレス市とウェリントン市の姉妹都市計画等について話し合った。

(iii) タイアナ外相は、ピーターズ外相に対して、来年3月の訪亜を招待した。

(iv) 両外相は、政策協議を行うため、10月にNZ外務次官が訪亜することで合意した他、年末までにNZのウェリントン市において、両国の議員間の会合を行うことを決定した。

(v) タイアナ外相は、今回のNZ訪問を「大成功であり、非常に満足している」と評し、「亜とNZの関係は、さらに緊密となる可能性を秘めており、アジア市場へのアクセスの重要な手段になる」と述べた。

#### (2) 次期国連事務総長選挙

(イ) 今年末に任期が切れるアナン国連事務総長の後任を決める次期国連事務総長選挙に関して、同選挙の候補者3名が、安保理非常任理事国である亜を訪問した。

##### (ロ) 韓国

11日、ガルシア・モリタン外相代行は、南米諸国訪問の一環として亜を訪問した潘基文候補（韓国外交通商部長官）と会談を行い、次期国連事務総長選挙、二国間関係、北朝鮮問題等について話し合った。

(ハ) タイ

14日、タイのスラキアット候補（副首相）は、ガルシア・モリタン外相代行と会談し、次期国連事務総長選挙等について話し合った。

(ニ) インド

22日、インドのタルール候補（国連広報担当事務次長）は、亜外務省において、タイアナ外相と会談し、同選挙の支持要請を行った。

(3) レバノン・イスラエル情勢

(イ) 8日、ガルシア・モリタン筆頭外務副大臣等は、記者会見を開き、レバノン政府からの要請に応じて、同日、亜は、レバノンに向けて、2トン以上の人道的救援物資を発送した旨発表した。

(ロ) 15日、亜外務省は、レバノン・イスラエル情勢に関する国連安保理決議1701号の採択に満足の意を表明する旨のプレス・コミュニケを発出した。

(ハ) 12日、アナン国連事務総長は、亜を含む19カ国に対して、国連レバノン暫定隊（UNIFIL）への参加を要請した。しかし、15日、ガルシア・モリタン筆頭外務副大臣は、「我々は、国連レバノン暫定隊に参加する状態にはないと回答した」と述べ、アナン国連事務総長の同要請を拒否したことを明らかにした。

(4) 日本

(イ) 24－29日、シオリ上院議長（副大統領兼務）の招待により、扇参議院議長は、清水参議院議員、輿石参議院議員及び風間参議院議員からなる議員団を率い、亜を公式訪問した。

(ロ) 扇議長等は、シオリ上院議長、バレストリーニ下院議長、フェルナンデス首相、タイアナ外相、亜日友好議連メンバー等と会談を行ない、二国間関係強化等について話し合った。

(5) 要人往来

(イ) 来訪

8月11日	潘基文・韓国外交通商部長官（ガルシア・モリタン外相代行との会談）
8月14日	スラキアット・タイ副首相（ガルシア・モリタン外相代行との会談）
8月22日	タルール国連広報担当事務次長（タイアナ外相との会談）
8月24－29日	扇参議院議長等（シオリ上院議長、フェルナンデス首相、タイアナ外相との会談等）

(ロ) 往訪

- 8月6日           タイアナ外相、デビード公共事業相、ガレ国防相及びミセリ経済相の  
                  ボリビア訪問（ボリビア憲法改正議会出席）
- 8月7日           シオリ副大統領のコロンビア訪問（ウリベ大統領就任式出席）
- 8月9－12日       タイアナ外相のオーストラリア訪問（マーク・ベイル副首相との会談  
                  等）
- 8月12－14日     タイアナ外相のNZ訪問（ピーターズ外相との会談等）
- 8月14日           デビード公共事業相のボリビア訪問（ガルシア・リネラ副大統領との  
                  会談）